

麻しん（はしか）は ワクチン接種が予防に有効です！

麻しんは、麻しんウイルスが感染しておこる感染症で、発熱や発疹などが主な症状です。
麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、日頃から麻しんのワクチン（一般的にはMRワクチン）を受けていることが、予防に最も有効です。

定期接種を受けましょう！

《定期接種を受けましょう》

- ◎ ワクチンを1回接種することで、95%以上の人が麻しんに対する免疫がつくと言われています。
- ◎ 確実な免疫を得るためには、99%以上の人が免疫がつくと言われる2回の接種がのぞましいとされています。
- ◎ 接種歴は、母子健康手帳で確認できます。

《ワクチンを接種した方がいい？》

- 1歳児と小学校入学前1年間の幼児は、定期接種の対象です。期間内に接種することを積極的にお勧めします。
- 過去に麻しんと診断され、検査で確認されたことがある方は、免疫がついていると考えられることから、ワクチンを接種する必要はありません。
- 過去に麻しんと診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方は、母子健康手帳を確認の上、医療機関にご相談ください。

《以下、特にご注意ください》

- 過去に麻しんと診断されたこともワクチン接種を受けたこともない方で、麻しん患者と接触し、1～2週間（約10日間）経ってから発熱、せき、のどの痛み、眼が赤くなるなどの症状が出てきたら、麻しんの可能性があります。
麻しんの可能性がある旨、事前に医療機関へ連絡してから受診するようにしてください。



麻しん・風しん
（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou21/index.html



麻しん（はしか）に関する
Q & A（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>



麻疹とは
（国立感染症研究所）

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>